

■ぽぽら春日部オープン5周年記念イベントを開催しました！

平成28年12月3日(土)、4日(日)に「ぽぽら春日部オープン5周年記念イベント」を開催しました。登録団体のうち35団体が参加し、ブース出展での活動紹介や体験、講演やコンサートを行いました。来場者数は2日間で5,300人。両日とも多くの方で賑わいました。

1階の多目的ホールでは、参加団体が来場者にお話を交えながら団体の活動PRをしました。2階から4階にかけては、参加団体による活動PRや、コンサート等の発表会、体験教室等が行われました。

また、1月6日(金)に、5周年記念イベント反省会・交流会を実施しました。この反省会・交流会では、今回、ぽぽらカフェの運営を行った「春日部コミュニティビジネス倶楽部 Kas-Biz」に企画・運営を依頼し、イベント参加団体が、ワークショップ形式で、イベントの良かった点、悪かった点、改善点等について、意見交換をしながら、交流を図りました。

今回は、その反省会・交流会で発表された、主な意見を紹介します。

「ぽぽら春日部」オープン5周年記念イベントの反省会と団体交流会でのご意見

☆イベントで良かった点

- ・多目的フロア展開により各ブーススペースの面で改善されていた。4階への誘導も効果があり、昨年より良かったのでは。
- ・コバトン&さいたまっちなどやスタンプラリーのおかげで4階への人の流れが従来より増えたように感じました。毎年工夫できたらいいですね！

☆イベントの反省点

- ・各団体がバラバラに動いていたので、共通のテーマを決めて、統一感をもたせられると良かった。
- ・参加団体を紹介したチラシがわかりにくかった。
- ・スタンプラリーに関して、4階の、どのブースで何色のスタンプが受けられるのか、迷っている人がいた。

☆今後の課題

- ・他団体との交流連携を深めたかった。
- ・スタンプラリーは良い考えですが、効果はどうだったか？
- ・開催を知らない人が多くいたため、もっとPRをしていくべきだと思う。



今回の意見を踏まえ、次年度に予定している6周年記念イベントをより良いものにしていきます。詳しい内容が決定次第、ぽぽらだよりやセンターのホームページに掲載していきますので、是非ご覧ください。

■新規登録団体を紹介します！ 2017年2月までに登録した団体です

特定非営利活動法人つながるサポート、さくらんぼの会

～よろしくお願ひします～

春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」

使用時間：午前9時～午後9時30分

休所日：毎週火曜日、年末年始(12/29～1/3)

※火曜日と休日が重なった場合は開所し、その日の直後の平日が休所となります。

東武スカイツリーライン/アーバンパークライン「春日部駅」下車

「春日部駅」西口から徒歩5分

※駐車場(有料)は数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

案内図



発行 年4回(6月、9月、12月、3月)
春日部市市民活動センター「ぽぽら春日部」
春日部市南1-1-7 ふれあいキューブ4階
■TEL:048-731-3550 FAX:048-734-1605
■E-mail: katsudo@city.kasukabe.lg.jp
■HP: http://kasukabe.genki365.net/

市民活動センター「ぽぽら春日部」主催事業

利用者会議を開催します！

日時：3月29日(水)14:00～15:30

会場：「ぽぽら春日部」6階 会議室4～6

内容：昨年7月～9月に、市内で活動する市民活動団体を対象に活動の概要や課題、ぽぽら春日部を利用して感じている事等についてのアンケート調査を行いました。今回はそのアンケート結果を踏まえた意見交換会を行います。みなさまのご参加をお待ちしています。

対象：市民活動センター利用・登録団体

主催：市民活動センター「ぽぽら春日部」

申込み：不要(直接お越しください)

※アンケート結果の一部を交流・ミーティングスペースに掲示しています。ぜひご覧ください。



春日部市コミュニティ推進協議会主催事業

問合せ：事務局(ぽぽら春日部内：048-731-3550)



第36回春日部藤まつい

日時：4月23日(日)10:30～16:00

(雨天時29日(祝)に延期)

会場：春日部駅西口 ふじ通り(郵便局前～地方庁舎前交差点)

春日部駅西口に約1.1kmの藤棚が続く「ふじ通り」を舞台とした賑やかなお祭りです。マーチングバンドなどのパレード、流し踊り・和太鼓、ヒップホップダンス、よさこいソーランのほか、吹奏楽、マジック、エイサー、バンド演奏、阿波踊りなどが各会場でも繰り広げられます。今年は春日部警察署協力のもと、白バイの乗車体験もできます。

また、沿道は多くの出店で賑わい、見て・食べて・買って・楽しむことができます。

※詳細は、4月上旬より配布いたしますプログラムをご覧ください。



これからのイベント情報

市民活動学習講座

■「正しい団体運営の進め方とは」

日時：3月22日(水) 14:00~16:00
 会場：「ぼぼら春日部」4階 会議室1
 講師：三浦 匡史氏
 (NPO法人 さいたまNPOセンター理事)
 内容：市民活動団体が、現在行っている活動を振り返り、今後の活動計画について考えます。
 対象：市民活動を行っている方
 定員：30名
 申込み：要事前申込(市民活動センターあて電話もしくは窓口で受付)
 問合せ：市民活動センター(731-3550)

■第44回古利根川清掃を実施します！

日時：3月5日(日) 8:30~11:00
 (雨天時は12日(日)に延期)
 活動場所：市域古利根川両岸
 参加方法：古利根公園橋上に設置する実施本部で軍手とごみ袋を配布
 主催：春日部市コミュニティ推進協議会
 問合せ：事務局(ぼぼら春日部内 731-3550)

イベントの報告

■「市民リーダーシップ講座」 ~今、必要とされるリーダーシップとは~

2月5日(日)14:00~16:00に「市民リーダーシップ講座」を実施しました。

今回は、認定NPO法人日本NPOセンター事務局長の新田英理子氏を講師に、市民活動やボランティア活動の中で、今と昔のリーダーの役割の変化や、必要とされるリーダーシップについての講義を行いました。

まず、グループに分かれ、自己紹介を行い、その後、講義に入り、個人から組織へと発展していく流れ、組織の中でのリーダーとしての立場や役割、未来の団体の姿について、参加者と一緒を考えながら、説明を行っていました。

参加者からは、リーダーシップや、手法について再考できた等の意見がありました。



春日部市共催事業

■第50回ウィークエンドフランチ ~今までのゲストさん大集合!~

日時：3月19日(日)
 10:00~12:00
 会場：「ぼぼら春日部」4階 会議室1・2
 内容：おかげさまで、50回。「週末の午前、地元でユニークな活動をしている人の話を聞こう」とはじめて5年。春日部の素晴らしい“人財”に出会えたことに感謝して、振り返ります。どうぞ、いつものように、ぶらっとお出かけください。新しい出会い、交流が生まれます。

参加費：300円
 (コーヒー・紅茶付き)
 定員：60名(※予約不要)



主催：春日部まちづくり応援団
 (担当:藤井 090-8048-8059)



春日部市共催事業

■「伝わる記事の書き方と取材講座」

1月21日(土)と28日(土)の2日間、13:30~17:00に、NPO法人埼玉情報センター主催、埼玉新聞社協力による「伝わる記事の書き方と取材講座」を実施しました。

1日目は、プロによる取材の書き方や掲載写真の撮り方の指導があり、その後、「特定非営利活動法人 日本セラピードッグ協会」をゲストに迎えて、模擬取材を行いました。2日目は、1日目の講義で作成した記事の公開編集作業を行い、講師からは講評や、改善方法の指導がありました。

取材した項目が同じでも、作成者の視点によって、記事のイメージが変わるため、記事を書く上で、伝えたいことを明確にすることが必要だと感じました。



イベントの報告 第9回市民活動フォーラム「市民活動のもつまちづくりへの可能性」

2月12日(日)13:30~16:20に、「春日部まちづくり応援団」の企画・運営により、「第9回市民活動フォーラム」を開催しました。

第一部では、昨年7月~9月に実施した市民活動団体のアンケート調査の集計結果報告でした。主な内容は次のとおりです。

「活動分野は、福祉・助け合い、生きがい、自治会活動が多い。会員年代は、シニア世代が圧倒的に多い。活動場所は、居住地域の公共施設などが多いが、それに匹敵するほど市民活動センターも多い。団体の活動理念は、自分たちが元気に楽しくやるため(20%)、地域の課題を解決するため(16%)、市民に喜んでもらうため(14%)、困っている人を助けるため(11%)、仲間づくりのため(10%)。市民活動センター利用の効果として、気軽に集まれるようになった。」など、各項目についての集計結果が発表されました。



そして第2部は、法政大学大学院教授の山岸秀雄氏の講演を行いました。市民活動は、市民のライフスタイルを変え、地域課題を解決し、また、経済的な面から考えると社会には、市民間の協力(ネットワーク)、行政・企業・市民の協力関係(協働)が重要であると語られました。そして、市民参加を形にするには、NPO法人化しての活動が必要で、と強調されました。

今回行った、アンケートの調査・集計結果の詳細については、市民活動センターのホームページに掲載する予定です。また、センターでは、フォーラムで紹介したアンケート結果のパネル展示も行っていますのでぜひご覧ください。



団体インタビュー
**特定非営利活動法人
 日本セラピードッグ協会**

—団体を設立した目的は何ですか？

昔から犬は、人間の良きパートナーです。犬がその高い能力や特性を生かして社会に貢献できることはないのか、と10数年前に思い立ち、セラピードッグにたどりつきました。

—団体について教えてください。

セラピードッグとは、ボランティアの知識を持った人材が、認定犬と共に日本全国の介護施設に赴き、犬達と触れ合うことで、高齢者に癒しを与え、笑顔を取り戻していただくというボランティア活動です。セラピードッグの登録については、健康で元気であれば、犬種や年齢に制限はありません。自宅で飼っている犬の福祉施設等への訪問活動に必要な適正を審査し、その後登録をして、認定証を発行しています。

犬とふれあって笑顔になろう！

- 設立：2006年3月
- 代表者：小林 二雄 ■電話：048-720-8743
- E-mail：info@dog-volunteer.org
- ホームページ：http://dog-volunteer.org/index.html

—お知らせや、今後の目標を教えてください。

月に数回の派遣を実施しています。1回90分程度で、費用は1万円。利用者の方々にはとても喜ばれ、次はいつ来るのと心待ちにいただいております。訪問依頼は、メールにて受付しております。現在では全国各地でセラピードッグの会員登録をいただいておりますが、高齢者の増加に伴い、訪問できる犬が不足しています。今後は、犬が社会貢献の一端を担うことで、犬の地位向上を目指しております。また、動物専門学校での講習により、アニマルセラピストの資格者を増やしていきたいと考えております。



ぼぼら記念イベントでの様子